

## 投資事業評価調書(新規)

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 尾崎 幸忠 ( 藤井 嘉彦 )	内線	4459 (4465)
事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	2.1 億円
		通常砂防事業 ぜんしょうじだに 善照寺谷川		内用地補償費	0.2 億円
所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
西宮市山口町船坂 <sup>ふなさか</sup>			H20	H20	H24
事業目的			事業内容		
土石流対策 ・当溪流は土石流危険溪流に該当し、溪岸の浸食が進んでおり土砂災害の危険性が高まっているため、えん堤工を設置して地域住民の人命、財産、(主)大沢西宮線、市道を保全する。			・砂防えん堤工 2基 (H = 6.0m, L = 150.0m) (H = 10.0m, L = 100.0m) [負担割合 国:1/2、県:1/2]		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 安全、安心	・善照寺谷川は土石流危険溪流である。 ・近年の降雨により溪岸の浸食が進み、流域内も広範囲に荒廃している。既設えん堤があるが規模が小さく、土石流発生時には下流保全人家等に被害を及ぼす可能性がある。 ・保全対象は、人家26戸、(主)大沢西宮線、市道などがある。 ・地元の土砂災害に対する認識度が高く、事業化への要望が強い。 ・平成19年度には土砂災害警戒区域を指定する予定であり、ソフト面からも土砂災害対策を推進する。				
(2)有効性・効率性 有効性	・人命・財産(人家26戸)、(主)大沢西宮線、市道を保全し、事業実施による投資効果は大きい。				
効率性	・地元からの要望が強く、市の協力体制が有るので円滑な事業執行が可能である。				
(3)環境適合性	・県道等からの視認性を考慮し、化粧型枠等により周辺景観に配慮する。また、工事による法面については緑化を図るなど環境保全に努める。				
(4)優先性	・当溪流は土砂災害緊急整備5ヶ年計画に位置付けられている。 ・土石流危険区域には人家26戸、(主)大沢西宮線、市道がある。 ・流域状況は荒廃が進み、土砂流出の危険性が高まっているため、船坂地区の人命・財産等を保全する早急な対策が必要である。				

計画概略図  
縮尺 1:4,000

平面図

S=1:2500

ぜんしょうじだにがわ  
善照寺谷川  
〔西宮市〕



(主)宝塚唐櫃線



えん堤工1 H=6.0m, L=150.0m

(主)大沢西宮線

西宮北有料道路

えん堤工1

流域面積A=0.06km<sup>2</sup>

善照寺谷川

えん堤工2



えん堤工2 H=10.0m, L=100.0m

凡例	
	事業実施箇所
	土石流危険区域
	保全人家等



位置図  
1:50,000

(主)宝塚唐櫃線

西宮北有料道路

善照寺谷川